





# 中小企業に おける法的義務化 の防止措置の パワハラ

## パワハラ防止法 完全施行(22年4月)

これまで中小企業は努力義務だった「事業主のパワハラ防止措置」が、4月1日から法的義務となります。これを好機として取り組みを強め、職場からパワハラをなくしていきましょう。

### 職場のパワハラ の現状

全国の労働局や監督署に寄せられた民事上の個別労働紛争の相談では、「いじめ・嫌がらせ」がトップ。過労自死を含む精神障害の労災認定事由には、「上司等から身体

別労働紛争の相談では、「いじめ・嫌がらせ」がトップ。過労自死を含む精神障害の労災認定事由には、「上司等から身体

的・精神的攻撃等のパワハラを受けた」「同僚等から暴行又はひどいいじめ・嫌がらせを受けた」「セクハラをされた」などが並んでいます。厚労省の最新の委託調査では、過去3年間でパワハラを受けたと答えた者が3割、セクハラが1割を超えています。マタハラや就活セクハラは4分の1に及んでいます。

を否定し、基本的人権を侵害する絶対に許されない行為です。ILOの「ハラスメント撤廃条約(190号)」では、「暴力とハラスメントのない仕事の世界に対するすべての権利」を提唱し、「互いを尊重し、人間の尊厳に基づいた仕事の文化」が重要であると

### 事業主が講じなければならない措置の内容

- ① 事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発
- ② 相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備
- ③ 職場におけるパワハラに係る事後の迅速かつ適切な対応
- ④ プライバシーの保護、不利益取り扱いの禁止



講演する岩橋さん

### 職場の取り組みの強化を

パワハラやセクハラは、労働者の人格や尊厳

を推進する「ことを説いていきます。言うまでもなく事業主には、「職場における労働者の安全と健

康を確保する法的な義務」が負わされています(労安法3条)。しかしながら「社会によって強

安法上の責任を果たさせ、労働者のいのちと健康を守っていくのが、職場の労働組合の責務です。中小企業における義務化を契機に、パワハラを防止するために、①ル

握し、③教育し、④周知していきましょう。パワハラ解決に向けて、⑤相談・解決の場の設置、⑥再発防止の取り組みをすすめましょう。

12月5日に22京都国民春闘討論集会が開催され、宮津地労協から藤原

た。討論で「丹後半島に巨大風力発電施設が計画されている。高さ1800m最大50基の規模で多くの懸念の声がある。『丹後半島の野山を守る会』を

「宮津地労協だよ」(S)

## 各地でつづく 食料支援の 取り組み

### 府職労連 年越しのための 食料支援

府職労連は、12月29日、食料支援プロジェクトを実施し、40人にお米やお餅、缶詰などの食品をお渡しするとともに、アンケートや対話を通じての相談活動を行いました。



府庁の一角で実施しました

病もあり、正社員は無理。夫も非正規でいつまで働けるか。など厳しい実情が、続々と。府職労連単独で実施するのは初めてですが、他団体で実施されたノウハウも参考にす

すめ、当日は40人、昼休みや休日の事前準備を含めると50人以上の組合員が取り組みに参加しました。

京都府庁の一角で、府職員の労働組合として取り組みだことは、府民のための仕事がしたいという、自治体労働者の原点に立ち帰る取り組みとなりました。

2021年度定期大会にて青年部の部長に選任されました堀 恒一(ホリ コウイチ)と申します。

昨年は、コロナ禍が青年の働き方や生活を脅かしました。

今年は常任役員4人で話し合い、青年部として今何が出来るのか同じ仲間たちが何を欲しているのかを集め実現していきたいと思ひます。

青年部の活動や企画をするなかで各単産単組と交流したり力をお借りしたりしたいと思ひます。

よろしくお願ひします。/青年部長:堀 恒一

### 定期大会 開催

### 新部長の抱負



昨年12月12日に第31回女性部定期大会を開催しました。29人の参加で9単組11人の発言がありました。コロナ禍の中、女性たちの生活は深刻な影響を受けています。しかし、会うことは難しいが、オンラインを駆使し、要求を集めて、思いをつなぎ、声を上げ続けることの大切さを確認しました。

総評女性部は、すべての女性たちが働きやすい職場、より豊かで暮らしやすい平和な社会をめざして、力をあわせます。/女性部長:堀 照美



## スマホを捨てたい 子どもたち

京都教職員組合 委員長 中野 宏之

前京都大学総長の山極さんが、SNSで繋がることが当たり前となつていく世代に対して書かれた本です。山極さんは、「インターネットで繋がることに慣れると、肌で接している現実の世界の自分より、スマホの中の自分の方がリアリティーを持ち、なかなかうま



くいかない現実より、居心地がよくなる」とインターネット世代の問題点を指摘していま

す。さらに、長年のゴリラ研究と人間の進化の歴史から、人間の特徴を「人間は本来、他者に迷惑をかけるながら、それによって他者に迷惑をかけるながら、それを幸福と感ずるような社会の中で生きていく生物です」と位置付

興味深い一冊です。

書名: スマホを捨てたい子どもたち  
出版社: ポプラ社  
著者: 山極 寿一  
定価: 860円+税

### 要求が 実現できる 京都府政を!

### 山科・東山でも 食材提供プロ ジェクト開催

12月16日に民主府政の会丹後連絡会が要求交流集会を開催しました。各団体からの発言で、奥丹教組は「教師が足りず、教頭や教務主任が担任をしている。多忙化加速。12月の一時金が5、7万円減額。若い教師の間に怒りが渦巻いている」と訴えました。集会では、要求運動を府民的に可視化し、府政転換につなげる運動を提起されました。

衆議院選挙後しばらく休止していた食材提供プロジェクトが山科・東山でも開催されました。12月12日は山科で行われ、1000人を超える人が参加されました。ユニオンの竹井議長が「なん

でも、労働相談コーナー」の責任者を任せられ、参加者にアンケートを書いてもらいながら、変えるリーフ2」を入れたティッシュを配り、相談に応じました。

19日には東山でも開催されました。

### 春闘討論集会で 宮津地労協から 発言

12月5日に22京都国民春闘討論集会が開催され、宮津地労協から藤原

た。討論で「丹後半島に巨大風力発電施設が計画されている。高さ1800m最大50基の規模で多くの懸念の声がある。『丹後半島の野山を守る会』を

「宮津地労協だよ」(S)